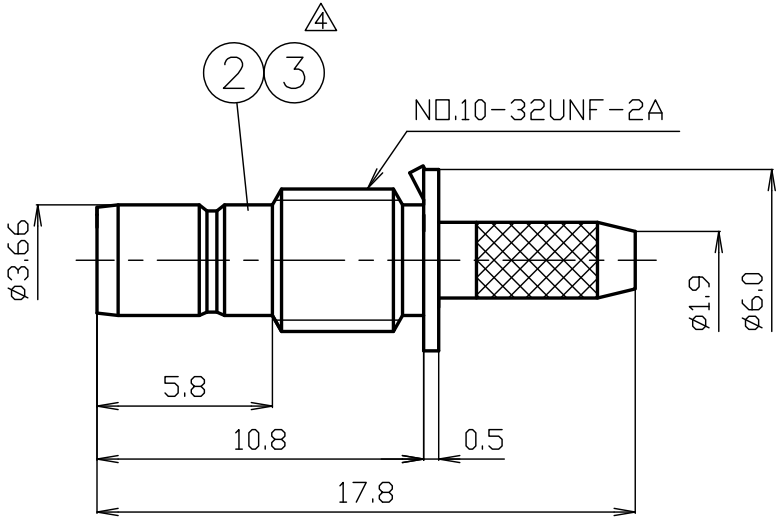
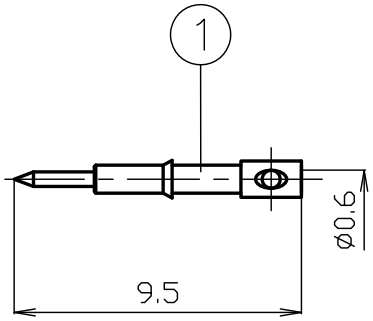
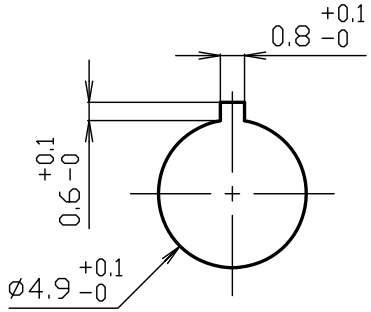
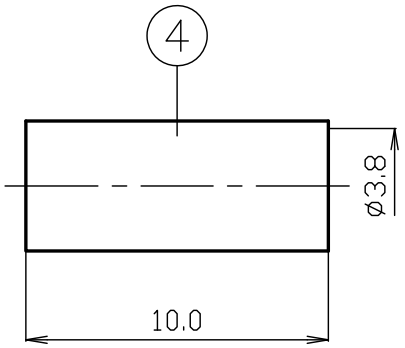
番号	変更・記事	日付	確認
1	社名変更	2012.01.30	済
2	外観図面化	2016.06.20	済
3	RoHS表記　追記	2016.06.20	済
4	内部構造変更に伴う部品表記変更「絶縁体A」→「絶縁体」、「絶縁体B」削除	2021.03.12	山本
5			

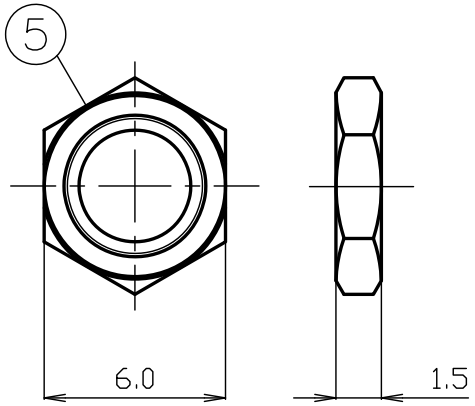


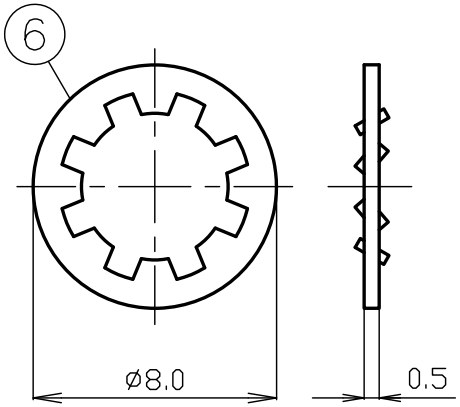




取付穴寸法







3

RoHS Compliant	Cd ≦75ppm
REMARKS	BRASS:Cd ≦75ppm PHOSPHOR BRONZE:Pb <4wt%

番号	部品名	材質	数量	処理	備考
7					
6	歯付座金	バネ鋼	1	Ni	
5	六角ナット	黄銅	1	Ni	
4	圧着スリーブ	黄銅	1	Ni	
3	絶縁体	テフロン	1	--	
2	シェル	黄銅	1	Ni	
1	中心コンタクト	黄銅	1	Au	

尺度 4/1
単位 mm
日付 2007.03.02
投影法

製図	検図	承認	確認
渡邉 '21,03,12 直弘	檜 '21,03,12 澤	山 '21,03,12 本	三 '21,03,12 村

株式会社トーコネ TO-CONNE CO.,LTD.

品名 SMB-BJ-1.5

図番 J-1221964

GKQM-16

仕　様　書

品 名　SMB-BJ-1.5

No.　1221027

図 番　J-1221964

株式会社トーコネ

定 格　1 参考規格　IEC 169-10 MIL C 39012
2 定格電圧　AC 335V
3 定格周波数　4GHz
4 公称ｲﾝﾋﾟｰﾀﾞﾝｽ　50Ω

確　認	検　印	作　成
山 12.01.30 本	檜 12.01.30 澤	山 12.01.30 口

	項　目		条　件	規　格
1	構造形状	構造及び形状寸法	添付図に示す	異常のないこと
2		材　質	（図番　J-1221964）	
3		仕上げ及び表示		
4	電気的特性	絶縁抵抗	DC　500V	1000MΩ以上
5		耐電圧	AC　1000V　1分間	異常のないこと
6		接触抵抗	接触間の電圧降下は、約1kHzの交流又は直流で1mVを越えない方法にて	中心コンタクト:3mΩ以下 外部コンタクト:2mΩ以下
7				
8	機械的特性	互換性	規格に準ずるコネクターと結合したとき	異常なく結合すること
9		中心コンタクトの固定力	コンタクトに4.9Nの力を加えた時	異常のないこと
10		ケーブル接続強度	軸方向引張力49N以上	異常のないこと
11		繰り返し動作	500回の抜き差し後	異常のないこと
12	耐候性	耐食性	5%塩水で連続48連続48時間試験した後、コンタクトを10回抜き差し後	耐電圧は5の項を満足し、接触抵抗は50mΩ以下

GKQM-19-1

	変更履歴	日　付
1	社名変更	2012.01.30
2		
3		

SMB-BJ-1.5　取付仕様書

図　番
J-1221964

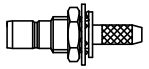
株式会社トーコネ
TO-CONNE CO.,LTD.

製　図	検　図	承　認	確　認
石 '25,08,18 川	檜 '25,08,18 澤	山 '25,08,18 本	三 '25,08,18 村

適合ケーブル　1.5D-2V、1.5D-QEV △2

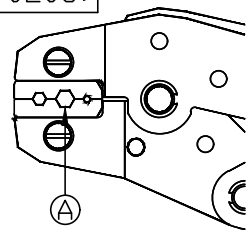
専用圧着工具
ＴＡ－１７
（本体表示：50-0203）

部品構成 △3

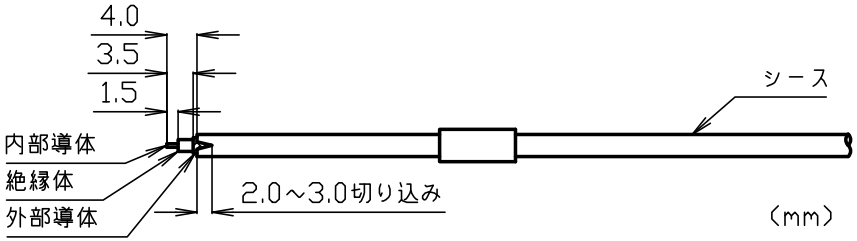

シェル

中心コンタクト

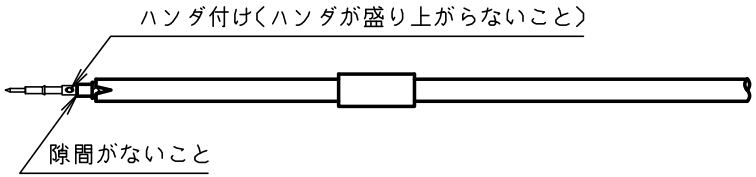
圧着スリーブ



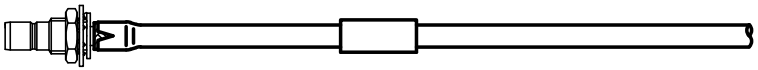
番号	変更・記事	日付	確認
△1	社名変更	2012.01.30	済
△2	適合ケーブル　追記	2014.02.21	済
△3	部品構成図　修正	2019.02.06	済
△4	クリンプハイト設定 追記	2025.08.18	山本



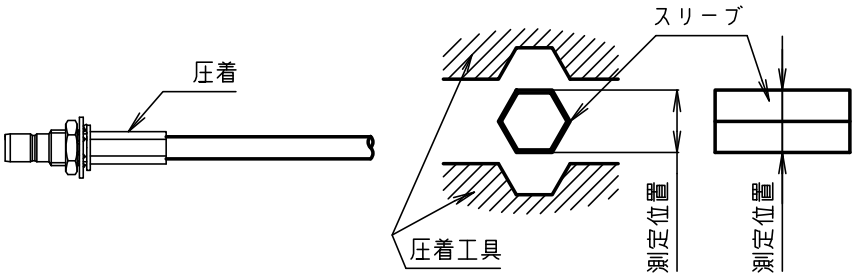
1　同軸ケーブルへ圧着スリーブを通しシース、外部導体、絶縁体を図中の寸法で切りとる。シースに2.0～3.0mmの切り込みを入れる。



2　中心コンタクトを内部導体に装着して、ハンダ付けをする。
　注意 1.ハンダが盛り上がらないこと
　　2.中心コンタクトと絶縁体の間に隙間がないこと
ハンダ付け後、中心コンタクトを引っ張り抜けないかを確認すること。



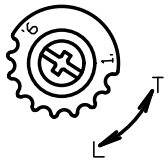
3　シェルを同軸ケーブルの絶縁体と外部導体の間に挿入する。



4　装着が終わったら、圧着スリーブを図の位置まで上げて圧着工具のA部で圧着して作業を終了する。

△4 この時、図中の位置で寸法を測定し、クリンプハイトにより工具の強度調整用ダイヤルを設定して下さい。

測定位置でのクリンプハイト3.85～3.95mm



強度調節ダイヤル

GKQM-15